

はなわ

2011

4

平成23年4月1日

No. 569

先生！ありがとう

埜幼稚園の修了証書授与式が3月23日(水)、同園ゆうぎ室で行われました。佐藤美智子園長が、卒園児48人一人ひとりに修了証書を手渡しました。卒園児たちは、「ありがとうございます」と言いながら、うれしそうに修了証書を手にしていました。

今月号の主な内容

平成23年度当初予算 P 2～5

東北地方太平洋沖地震 P 6

みんなが主役 しあわせ実感のまち はなわ

平成23年度

一般会計予算49億6,150万円

新規事業に、新卒雇用奨励金・住宅リフォーム助成など

問い合わせ 総務課財政係 ☎43-2111

一般会計 歳出(支出)

「民生費」の内訳

項目	予算額	対前年度比較	予算に占める割合
児童福祉費	3億1,776万円	2,427万円	6.4%
社会福祉費	2億9,849万円	1,009万円	6.0%
老人福祉費	1億8,374万円	△1,998万円	3.7%
障がい者福祉費	1億6,353万円	589万円	3.3%

「教育費」の内訳

項目	予算額	対前年度比較	予算に占める割合
小学校校費	2億6,803万円	1億8,318万円	5.4%
中学校校費	1億4,912万円	△7億4,044万円	3.0%
保健体育費	1億4,335万円	602万円	2.9%
幼稚園費	9,399万円	△1,987万円	1.9%
社会教育費	9,214万円	499万円	1.8%
教育総務費	7,355万円	867万円	1.5%

「総務費」の内訳

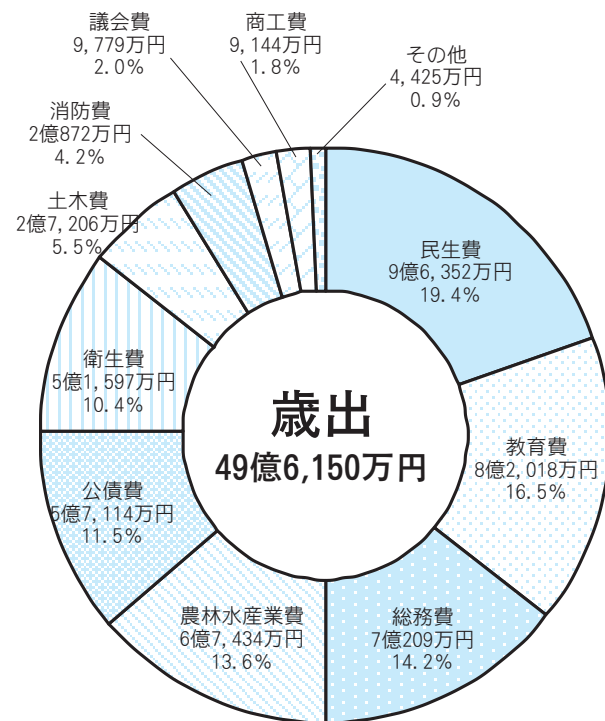
項目	予算額	対前年度比較	予算に占める割合
総務管理費	5億5,771万円	4,038万円	11.2%
徴税費	7,826万円	△937万円	1.6%
戸籍住民基本台帳費	3,850万円	498万円	0.8%
選挙費	1,865万円	△693万円	0.4%
監査委員費	800万円	8万円	0.2%
統計調査費	97万円	△385万円	-

「農林水産業費」の内訳

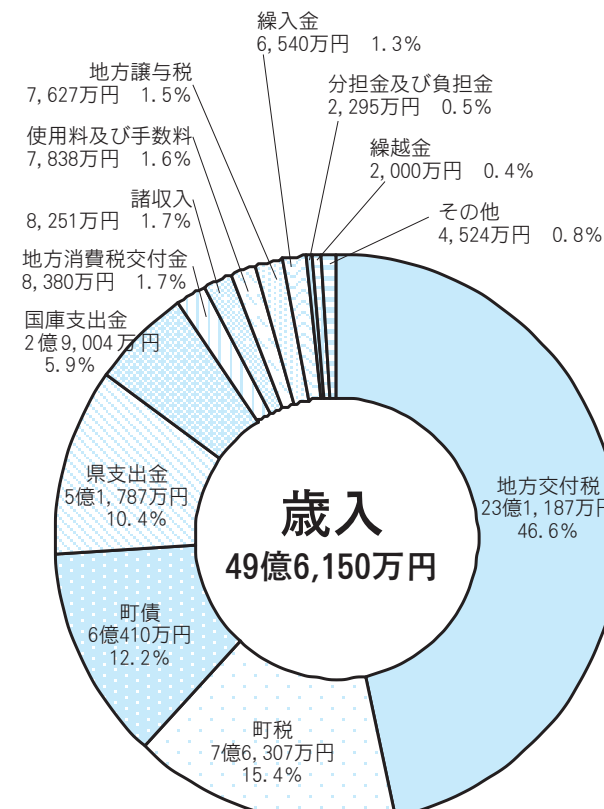
項目	予算額	対前年度比較	予算に占める割合
農業費	2億4,927万円	6,167万円	5.0%
農業集落排水処理費	8,536万円	1,127万円	1.7%
地積調査費	2,956万円	471万円	0.6%
林業費	3億1,015万円	5,787万円	6.3%

「衛生費」の内訳

項目	予算額	対前年度比較	予算に占める割合
保健衛生費	1億5,439万円	△1億1,582万円	3.1%
東白衛生組合負担金	2億2,809万円	△769万円	4.6%
上水道・給水事業費	1億3,349万円	1億3,349万円	2.7%



一般会計 歳入(収入)



「町税」の内訳

項目	予算額	対前年度比較	予算に占める割合
固定資産税	4億2,828万円	106万円	8.6%
町民税	2億6,223万円	△4,626万円	5.3%
町たばこ税	3,824万円	△393万円	0.8%
軽自動車税	2,108万円	5万円	0.4%
入湯税	1,321万円	△14万円	0.3%
鉱産税	3万円	-	-

「その他」の内訳

項目	予算額	対前年度比較	予算に占める割合
地方特例交付金	1,583万円	△19万円	0.3%
自動車取得税交付金	1,260万円	△281万円	0.3%
財産収入	1,138万円	839万円	0.2%
利子割交付金	305万円	35万円	0.1%
交通安全対策特別交付金	120万円	-	-
配当割交付金	80万円	15万円	-
株式等譲渡所得割交付金	28万円	△42万円	-
寄附金	10万円	8万円	-

平成23年度の予算についてお知らせします。地方財政を取り巻く環境は依然として厳しいですが、効率的な行財政運営に努め、魅力あるまちづくりのため予算を重点配分しました。埴町における平成23年度の予算規模は、一般会計で49億6,150万円、前年度比6.5%の減、特別会計で25億6,044万円、前年度比11%の減となりました。

ワンポイント解説

【一般会計と特別会計】
地方公共団体の会計には、一般会計と特別会計があります。一般会計は、全般的な経費を処理する会計。特別会計は、特定の事業を行うために、歳入(収入)・歳出(支出)を一般会計と区分して経理するための会計。

【歳入】
地方交付税 地方自治体の財政力に依り、国から配分されるお金。自治体間の財政格差を縮め、全国各地でも必要最低限の生活ができるようにすることが目的

町税 町民税(個人・法人)、固定資産税、軽自動車税、たばこ税など、町が収納できる税金
町債 町の借金。一時的に大きな支出が必要ときや、将来、経費を負担することがふさわしい場合に、決められた手続きで借りるお金

国庫支出金 町が行う仕事に対し、国や県が出す補助金など。使い道はあらかじめ決められている
地方消費税交付金 消費税のうち、地方自治体に交付されるお金

地方譲与税 国が国税として集めたお金を、地方自治体に配分するもの
繰入金 基金(預金)から繰り入れるお金
繰越金 基金(預金)から繰り入れるお金

【歳出】
民生費 主に高齢者、障がい者子ども、ひとり親福祉などに使われるお金
教育費 学校や公民館など、教育施設の整備や運営に使われるお金
総務費 選挙や税金の徴収、広報紙の発行など行政運営に使われるお金

農林水産業費 農家の支援や水路の整備など、農業振興に使われるお金
公債費 町債(借金)の返済に充てられるお金
衛生費 ごみ処理や母子保健、検診などに使われるお金

土木費 橋や道路などの整備に使われるお金
消防費 消防施設の整備や、消防組合の負担金
議会費 町議会の運営などに使われるお金
商工費 町内の商工業者などの支援に使われるお金

【性質別内訳】※5ページ参照
補助費等 各種の補助金や負担金として使われるお金
人件費 職員の給料や議員の報酬として使われるお金
物件費 消費的性質をもつ経費。賃金、旅費、交際費、需用費など
公債費 町債(借金)の返済に充てられるお金

投資的経費 建物の建設や道路などを整備するために使われるお金
繰入金 一般会計から特別会計に繰り出されるお金
扶助費 福祉や医療の費用として給付されるお金
維持補修費 道路、公共施設などを管理するために必要なお金

農林水産業費

■森林整備加速化・林業再生基金事業補助金
地場の基幹産業である林業振興のため、集成材加工施設や木材乾燥機を設置する製材業者の補助金を交付します
2億100万円

■振興作物生産奨励事業
地場の基幹産業である農業振興のため、竹粉農法・ダリア切花栽培の普及を目指します
1,057万円

■農業水利施設ストックマネジメント事業
大字上渋井・大字塙地内へ配水している守崎堰頭首工を改修します
2,730万円

■県営農業基盤整備事業
県営で施工している広域農道東白川地区・東白川3期、ふるさと農道と久・中平線への負担金
4,475万円

■県営林道整備事業
県営で施工している板庭入宝坂線、欽木田一本木Ⅱ線への負担金
2,265万円

■林道開設事業
林道大日向Ⅱ線の開設に着手し、林業振興を図ります
3,459万円

特別会計

《国民健康保険》
■保険給付
特定健診や人間ドック補助事業を効果的に実施し、被保険者の健康保持の支援を図り、医療費削減に努めます
7億3,042万円

■高額医療費共同事業拠出金
高額医療費の保険者(町)負担分を平準化するため、国保連合会に拠出します
1億2,826万円

■後期高齢者支援金
後期高齢者医療に対し支援をします
1億3,499万円

《後期高齢者医療》
■後期高齢者医療広域連合納付金
後期高齢者医療制度は、75歳以上の全ての高齢者を対象にするもので、福島県を保険者とする広域的な医療制度です。町は、徴収した保険料と町負担分を、広域連合に納付します。
8,861万円

特別会計の平成23年度予算額

項目	予算額	対前年度比較
◆国民健康保険	11億4,872万円	△1,933万円
◆笹原財産区	121万円	△13万円
◆農業集落排水処理事業	1億3,063万円	486万円
◆塙林間工業団地用地	629万円	△3,784万円
◆公共下水道事業	1億6,665万円	△1,867万円
◆介護保険	7億9,686万円	1,803万円
◆老人ホーム米山荘	1億6,469万円	△146万円
◆後期高齢者医療	9,099万円	△1,957万円
◆上水道事業	3億3,838万円	1億485万円
収益的収入	2億2,445万円	—
資本的支出	1億1,393万円	—
計	28億4,442万円	3,074万円

注：上水道事業は、前年度の簡易水道事業との比較

土木費

■町道改良事業
町道桜木町線・町道下川原下稲沢線の改良・舗装事業を施工します
3,154万円

■橋梁維持事業
点検診断の終了した橋梁について、改修計画を策定します
330万円

消防費

■消防施設整備事業
水元地区の消防車庫新設、丸ヶ草地区小型動力ポンプ付積載車購入等の施設整備に努めます
2,652万円

商工費

■新卒雇用奨励金
塙工業高校卒業者を中心に、新卒者の地元定着を図るため、新規雇用をする町内企業に奨励金を交付します
1,000万円

■住宅リフォーム助成事業
地場中小建築業者の育成と住民生活向上のため、住宅リフォーム費用の一部を助成します
200万円

《介護保険》
■保険給付
要介護者・要支援者に必要な介護サービスを給付します
7億3,482万円

■地域支援事業
高齢者が住みなれた地域で、自立した生活を安心して送れるよう「地域包括支援センター」を中心に、介護予防事業等に取り組めます
1,836万円

総務費

■情報化推進(IP告知)事業
前年度に整備したIP告知端末の稼働と、使用方法等周知のため各地区に情報化推進員を配置します
2,924万円

■情報通信基盤整備事業
前年度に整備したIP告知・地上デジタル再送信施設の拡充を図ります
1,450万円

■公共交通対策事業
前年度に策定した地域公共交通総合連携計画に基づき、具体的な実施方策を検討する協議会に補助金を交付します
250万円

衛生費

■予防接種事業
これまで実施してきた予防接種に加え、子宮頸がん・小児肺炎球菌・ヒブ(細菌性髄膜炎)ワクチンの摂取を実施します
3,366万円

■家庭用生ごみ処理機購入補助金
ごみ減量化とリサイクル意識高揚のため、家庭用生ごみ処理機を購入する世帯に補助します
150万円

■合併浄化槽設置整備事業補助金
合併浄化槽を設置する世帯に補助金を交付します
1,029万円

■子育て情報発信事業
乳幼児健診などの子育て情報を希望者に携帯メールで送信できるシステムを導入します
44万円

これらの事業に取り組みます！

平成23年度の主な取り組みや新規事業などを紹介します

民生費

■国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療繰出金等
国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療の各会計に、法律で定められた町の負担分を支出します
3億9,964万円

■子ども手当支給事業
中学3年生までの子どもを持つ親に子ども手当を支給します
1億9,978万円

■障がい者支援事業
障害のある方々の日常生活に必要な支援や自立した生活に必要な知識・技能を身につけるための支援に取り組みます
1億4,459万円

■保育園運営事業
保育に欠ける児童を保護するため、塙保育園を運営します
8,283万円

■子ども医療、妊産婦医療助成事業
中学3年生までの子ども・妊娠5カ月目から出産日(分娩日)の翌日までの妊産婦・ひとり親家庭の医療費を町が負担します
3,468万円

教育費

■塙小学校耐震補強・大規模改修事業
塙小学校校舎の耐震補強・大規模改修を23・24年度の継続事業として実施します
1億7,430万円

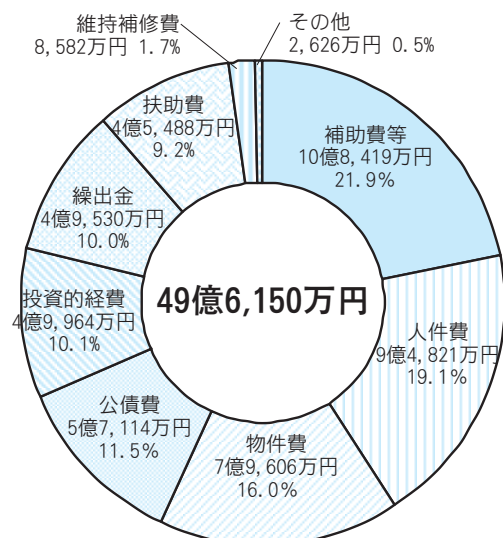
■塙中学校整備事業
塙中学校校舎と体育館をつなぐ渡り廊下の新設と、駐車場などの屋外環境整備を行ないます
9,030万円

■学力向上対策事業
町内小中学校の学力向上のため、教育委員会に指導主事を配置し、教員の指導力向上に努めます
1,000万円

■小学校校務員配置事業
小学校の学校運営充実のため、各学校に校務員を配置します
408万円

■小学校施設整備事業
常豊小学校・笹原小学校へのエアコン(保健室)・冷水機を設置します
460万円

一般会計性質別内訳



みんなが主役のまちづくりを進めます

マグニチュード9.0の巨大地震発生 塙は震度5弱 平成23年東北地方太平洋沖地震



町道西河内・堀越線の土砂崩れ

世界でも最大規模の大地震が日本を襲いました。3月11日(金)午後2時46分ごろ、東北地方を中心とする東日本で強い地震があり、宮城県北部で震度7を観測。地震の規模を示すマグニチュード(M)は9.0で、1923年の関東大震災のM7.9、1995年の阪神・淡路大震災のM7.3を上回る国内観測史上で最大、世界でも歴代4番目の大地震となりました。12日(土)未明には、長野県栄村で震度6強の地震が発生。各地で余震が続く、沿岸部では大津波が発生。壊滅的な被害をもたらしました。この地震で、東北・関東地方で死者・行方不明者は2万7千人以上になっています。(3月25日現在)

県内でも被害があり、東白川郡でも棚倉町で震度6弱、矢祭町で



避難場所(塙町公民館)を訪れ、被災者を励ます菊池町長

震度5強、塙町と鮫川村では震度5弱を記録しました。この地震で塙町では、ブロック塀が倒れたり、屋根瓦が落下する被害が発生。また、土砂崩れや道路のひび割れなども発生しました。町内の被害状況をまとめると、道路(町道・林道・農道)の落石・崩落等が48件、家屋の一部損壊270件、土地の

崩落8件、公共機関の一部損壊23件、町立幼・小・中、公民館など一部損傷28件、その他23件になっています。(3月25日現在)

今回の地震で、塙町は被災者の受け入れ体制を整え、塙町公民館を避難場所として開放し、39人の被災者を受け入れています。(3月25日現在)

今回の巨大地震に関する問い合わせ

塙町災害対策本部
☎43-2114

塙町の避難場所

塙町公民館(塙町大字塙字桜木町80)
☎43-0320

避難者の相談窓口

町民課
☎43-2114

消防協力者に広域圏から表彰 松本行史さん・金沢 勉さん・大崎佳美さん

平成22年度白河地方広域市町村圏消防本部表彰式が3月1日(火)に同本部で行われ、松本行史さん(台宿)・金沢 勉さん(台宿)・大崎佳美さん(台宿)が白河地方広域市町村圏整備組合および消防本部連名の表彰状を受賞しました。これは、2月20日(日)台宿地内で発生した建物火災で、私設消火栓を使用して初期消火に務め、被害の拡大を防いだことに対するものです。



左から：松本行史さん、金沢 勉さん、大崎佳美さん



夢への挑戦を発表し優秀賞 東白川4Hクラブ 八幡祐二さん

東白川4Hクラブ(郡内の青年農業者10人によって組織された団体)の八幡祐二さん(片貝)が、2月4日(金)郡山市労働福祉会館で行われた「平成22年度福島県農村青年会議プロジェクト意見発表」で優秀賞を受賞しました。八幡さんは「夢への挑戦～目指せ!和牛繁殖100頭」と題し、耕作放棄地の利用効率向上や今後の目標達成に向けた活動を発表しました。畜産業に携わって5年目になる八幡さん。「自分の夢に向かってこれからも頑張ります」と、力強く抱負を話してくれました。

住宅用火災警報器 大切な家族を守ります

皆さんのお宅では、住宅用火災警報器(以下、警報器と記載)の設置はお済みですか? 消防法などの改正により、警報器の設置が義務付けられ、既存住宅は今年(平成23年)5月31日までに設置する必要があります。

■どうして必要?

総務省消防庁の調べによると、住宅火災で死亡した原因のうち約6割が「逃げ遅れ」になっています。住宅火災による死者を減らすためにも、警報器の設置は不可欠です。

■どこに設置?

寝室と階段の上の部分(2階に寝室がある場合)に設置しなければなりません。それ以外は任意ですが、安全のため台所や居室にも設置しましょう。



※取り付けが義務付けられているのは寝室と階段(2階に寝室がある場合)ですが、安全のため台所や居室にも設置しましょう

設置期限は、今年5月31日

問い合わせ
棚倉消防署塙分署
☎(43)1219

をるを ささえる 国民年金

町民課住民係
☎(43)2114
白河年金事務所
☎0248(27)4161

前納や口座振替で賢く納付

国民年金保険料は、日本年金機構から送られる納付書で納めてください。保険料の納付は、一度手続きをすれば、後は手間いらずの口座振替が便利です。

■口座振替の手続き

納付書・預貯金通帳・通帳届出の印鑑をご準備の上、各金融機関でお願いします。

■4月1日から30日の間に現金で保険料を納付する場合

- ① 1カ月分を納付
1カ月15,100円
- ※年間保険料額
181,200円

■口座振替にした場合

通常の口座振替「翌月末引き落とし」から早割制度を利用した「当月末引き落とし」に変更すると、年間600円(1カ月当たり50円)の割引になります。

②1年分を前納

※年間保険料
177,980円

③6カ月分を前納

↓3,220円割引
89,860円

④6カ月分を前納

↓6カ月分740円割引

○前納用の納付書は、4月上旬に送付されます。詳しくは、年金事務所までお問い合わせください。

高齢者見守り事業訪問員に委嘱状交付

2月から活動を開始した埜町高齢者見守り事業。欠員が生じていたため、新たに大森タイさん(那倉)に訪問員の委嘱状を交付しました。交付式は3月3日(木)、町役場応接室で行われ、菊池基文町長が委嘱状を手渡しました。大森さんの担当地区は笹原地区(那倉)です。ひとり暮らしの高齢者を訪問し、安否確認や話し相手になるなど訪問員の活動が期待されます。



大森タイさん

延期されます 福島県議会議員一般選挙

4月10日(日)投票日予定だった福島県議会議員一般選挙は、今回の東日本大震災の影響で延期になります。日程については、現在のところ未定です。決まり次第、広報はなわなどでお知らせします。

■問い合わせ

選挙管理委員会 ☎43-2111

4月1日から開館しています 埜町立図書館

埜町立図書館は、今回の東日本大震災の影響で3月11日から休館していましたが、4月1日(金)から開館しています。また、4月に予定の図書整理期間中も通常どおり開館しますのでご利用ください。

■問い合わせ

埜町立図書館 ☎43-0808

のびのびすくすく

3月8日(火)に行われた3歳児健診(受診者14人)で、むし歯が1本もなかった子どもたち12人を紹介します。



篠原にこちゃん
(大町)



石井幌明くん
(台宿)



松本彩音ちゃん
(中塚)



白石紗也ちゃん
(上洗井)



鈴木海斗くん
(東河内)



戸井田 塁くん
(台宿)



深谷悠那ちゃん
(川上)



益子さくらちゃん
(桜木町)



石井あさみちゃん
(真名畑)



山田琉晴くん
(川上)



北郷 匠くん
(川上)



星 和志くん
(材木町)
※治療してゼロ

退職者医療制度該当の届け出を

勤めていた会社を退職し、現在、国保に加入している人で厚生年金や各種共済年金などを受給される65歳未満の人とその家族(被扶養者)は、「退職者医療制度」に該当します。

退職者医療制度では、医療費の一部が被用者保険(現役時に加入していた健康保険)からの拠出金で賄われます。これにより、間接的に国保税の負担軽減が図られることになり、また国民健康保険制度の適正な財政運営につながります。

対象となる人は、必ず届け出をしてください。対象となるのは、次の条件にすべてあてはまる人とその被扶養者です。

[退職被保険者(本人)]

- ①65歳未満で国保に加入している人
- ②厚生年金や各種共済組合などから老齢(退職)年金を受けられる人で、その加入期間が20年以上、もしくは40歳以降10年以上ある人

[被扶養者となる人]

被扶養者とは、退職被保険者と生活をともにし、主に退職被保険者の収入によって生計を維持している次のような人です。

- ①退職被保険者の直系尊属、配偶者(内縁でもよい)と3親等以内の親族、または配偶者の父母と子
- ②65歳未満で国保に加入している人
- ③年間の収入が130万円(60歳以上の人や障がい者は180万円)未満の人

※届け出に必要なもの

国民健康保険証、年金証書、印鑑

国保だより

■問い合わせ

健康福祉課国保係 ☎43-2115

学生用の保険証交付

国保加入者で、大学や専門学校へ進学のため住所を変更する人などに、学生用の国民健康被保険者証を交付します。

[◎被保険者証]…転出により住所を変更する人が対象

[◎被保険者証]…住所は変更せず、修学のため当町を離れる人が対象

○届け出に必要なもの

国民健康保険証、印鑑、在学証明書(4月1日以降の日付のもの)または学生証(写)

○現在在学中で、前年に学生用の被保険者証の交付を受けた人も更新の必要がありますので、忘れずに更新手続きを行ってください。

○卒業した人は、お手元にある学生用の被保険者証を返還し、学生用被保険者証の非該当の届け出をお願いします。また社会保険に加入した人は、国保脱退の届け出をお願いします。届け出が無い場合は、国保税が課税されたままになりますので、忘れずに手続きを行ってください。

国勢調査速報

■問い合わせ
総務課企画情報係
☎43-2111

埴町の人口9,890人 5年間で6.9%の減少



平成22年10月31日を基準日として行われた国勢調査の速報値が、昨年12月末に公表されました。

埴町の人口は前回の平成17年10月1日と比較して、6.9%減の9,890人。世帯数は2.8%減の3,087世帯。1世帯当たりの平均人員は3.2人という結果が出ました。

なお、当町の人口減少率6.9%は、東白川郡内では鮫川村(7.7%)に次いで2番目の高い数字になっています。町では、人口減少に歯止めをかけるため、新たな時代に対応するまちづくりをこれからも進めていきます。

【人口】

東白川郡	平成17年	平成22年	増減数	増減率
埴町	10,619	9,890	▲729	▲6.9%
棚倉町	15,795	15,054	▲741	▲4.7%
矢祭町	6,740	6,349	▲391	▲5.8%
鮫川村	4,322	3,991	▲331	▲7.7%

【世帯数】

東白川郡	平成17年	平成22年	増減数	増減率
埴町	3,175	3,087	▲88	▲2.8%
棚倉町	4,817	4,700	▲117	▲2.4%
矢祭町	1,957	1,932	▲25	▲1.3%
鮫川村	1,110	1,106	▲4	▲0.4%

※速報値のため、今後、総務省が発表する確定値と異なる場合があります。

埴町地域公共交通総合連携計画 に関するパブリックコメント結果

町では、地域公共交通総合連携計画の策定にあたり、計画に対する意見を募集しました。提出していただいた意見は、今後、計画の策定に活用していきます。ここでは、意見内容をお知らせします。

なお、意見内容については、町ホームページでもご覧いただくことができますので、ご利用ください。

意見結果について

- 期間 1月31日～2月14日
- 募集方法 町ホームページ、広報はなわ、役場窓口など
- 意見募集結果 11件
- 問い合わせ まち振興課地域づくり係 ☎43-2112

町民が移動しやすい公共交通体系の構築

①電車の時間に合わせてバスの便を出してほしい。

(対応方針①)

鉄道とバス相互の乗り継ぎがしやすくなるよう、鉄道の時刻に合わせたバス便のダイヤ調整の可能性について、検討していきます。

②10時と13時のバスを走らせてほしい。(片貝方面)

(対応方針②)

片貝方面の路線は、正午前後に中心部から郊外部の便が無いため、午前の通院等外出時の帰りのバス利用ができない状況にあります。日中の対応が可能な交通やダイヤ見直しの可能性について、検討していきます。

③矢塚線と那倉線は笹原の区間で経路が重なるので、片方を中塚経由にしてみてもどうか。

(対応方針③)

利用実態や地域ニーズを踏まえ、路線の変更が有効である箇所については、路線見直しを検討していきます。

④田代方面はスクールバスが走っているが、通学時間帯について那倉線のバスが田代方面も回って、児童・生徒を乗せてみてはどうか。

どうか。(行き・那倉、帰り・田代またはその逆)

(対応方針④)

③と同じ。この他、現在スクールバスが運行しているため、その一般利用化の可能性について検討していきます。

⑤フリー乗降区間を拡大しても良いと思う。(片貝線など)

(対応方針⑤)

安全の確保が前提になりますが、バス利用者の利便性向上策としてのフリー乗降区間の拡大について検討していきます。

町の活性化につながる公共交通体系の構築

⑥棚倉Ⅱ東館線は、現在国道を走っているが、埴の商店街側の道路を走らせてはどうか。

(対応方針⑥)

⑦商店街の商店のレシートや領収書で、バスの運賃の割引を行ってはどうか。

(対応方針⑦)

商店街との連携の可能性について検討していきます。

⑧中島医院の前にも、バス停を作ると良いのではないか。

(対応方針⑧) 利用実態や地域ニーズを踏まえ、バス停留位置の変更が有効である箇所については、バス停移設を検討していきます。

その他

⑨小学生から高校生まで、無料で乗れるようにしてほしい。(対応方針⑨)

小中学生の通学利用に対しては、定期券支給を行っています。なお、町内を運行するいずれのバス路線も、町や県の負担で運行しており、無料化は現状として難しいと考えていますが、利用しやすい交通体系の確立に向けて検討していきます。

⑩高齢者や身障者の運賃を無料や半額にしてはどうか。(対応方針⑩)

身体障がい者・知的障がい者については、運賃の割引制度が設けられています。

⑪バスが古いので、新しくしてほしい。また、乗降に支障をきたしている人もいますので、ノンステップバスなどを導入してほしい。(対応方針⑪)

バス車両の更新時期に合わせた対応について、運行事業者と協議を行います。



「やさいのおなか」

きうち かつ/作・絵
福音館書店



図書館情報

4月の
テーマ

食育の本

図書館では毎月テーマを決め、そのテーマに関する本を集めたコーナーを設けています。今月は、その中から一冊の本を紹介します。

なお、希望する本が貸し出し中の場合、予約もできます。☎43-0808

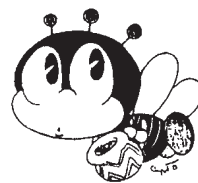
●ものがたり

この絵本には、タマネギ・キャベツ・トマト・キュウリ・レンコン・タケノコなど、たくさんの身近な野菜が登場してきます。やさいのおなかとは、野菜の中身のことで。

はじめに野菜スタンプのような断面図の白黒イラストページがあり、次に野菜の断面図に色がついたカラーページがあり、最後に野菜全体のイラストへと移っていくので、小さいお子さんでも楽しく野菜の色・形を理解することができるでしょう。

自分が何げなく毎日食べている野菜も違った角度から見ると、全く違うモノに見えることにきっと驚くに違いありません。そして、実際のお料理の際には、野菜の断面図を見るのも楽しそうです。

同じ作者の絵本で「やさいのせなか」もおすすめです。



マナビ はなわ

～埴町生涯学習だより～ 4月号

発行：埴町教育委員会生涯学習課

問い合わせ

■生涯学習課

☎ 43-2644

■埴町公民館

☎ 43-0320

■まなびとファインダー URL

http://www.manabito.fks.ed.jp/win.html



はなわふれあい スポーツクラブ通信

4月号



問い合わせ：スポーツクラブ事務局
☎ 43-2644 (埴町公民館内)

チーム「楽天」が優勝



第6回カローリング大会が2月5日(土)、埴町宮体育館で開催。全部で12チームが参加し大いに盛り上がりました。

左記写真は優勝チームの楽天の皆さん。

スポーツクラブ会員を募集中

随時、会員を募集しております。
4月末までに入会すれば、下記の金額より100円引きします。
スポーツクラブに入会して健康になりましょう。

年会費

個人入会	大人 (高校生以上)	3,000円	スポーツ保険 大人 1,600円 小人 600円 シルバー 800円
	小人 (中学生以下)	2,000円	
	シルバー (60歳以上)	2,000円	
家族入会		7,000円	
サークル入会	(大人)	1,500円	
	(小人・シルバー)	1,000円	
賛助		1口5,000円	

平成22年度 埴子ども教室終了



平成22年度埴子ども教室最後の活動「おわりのしき」が2月25日(金)に開催されました。

子育て支援員(コーディネーター)の西牧清さんから生活態度についてのお話があり、みんなで一年間の活動の反省をした後、修了証と記念品を一人ずつ渡しました。

その後、お迎えが来るまでの間は、埴工業高等学校の生徒によるサプライズコンサートがあり、子どもたちからはアンコールが出るほど盛り上がりました。

平成23年度も埴子ども教室は実施する予定です。

埴町公民館でも避難者受け入れ

～職員有志で誕生会開催～

東日本大震災および福島原発の事故により、埴町公民館でも浜通り地方からの避難者受け入れを開始しました。町民の皆さまの温かいたくさんのご支援に支えられながら、常時約60人が公民館の各部屋で生活をしていました。

暗くなりがちな気持ちを少しでも明るくできればと、3月18日には避難者の方の誕生パーティーを開催しました。



平成22年度 長寿学園閉講式

平成22年度長寿学園の最終講座が2月24日(木)に行われました。菊池基文町長による教養講座「長寿社会を楽しむ」の講話を聞き、その後閉講式を行いました。皆勤賞や精勤賞の受賞者は次のとおりです。

- 皆勤賞(敬称略)**
鈴木悦子(埴二区)
齊藤達夫(埴四区)
中野西ミツエ(埴四区)
田代ミチ子(埴四区)
荒川マキ(埴五区)
安部タカ子(上波井)
下重絹枝(上波井)
星フミ(台宿)
山本サイ(台宿)
生方芳子(常世中野)
藤田タツ子(水元・日林)
生方ヨシ子(水元・日林)
- 精勤賞(敬称略)**
白石光子(埴四区)
榎ミチ子(埴五区)
宮崎礼子(水元・日林)

平成23年度 長寿学園生募集

埴町公民館では、長寿学園の学園生を募集しています。
長寿学園は、高齢者の能力開発や健康管理、社会参加や生きがい発見を目的に毎年開催しています。
埴町在住の60歳以上の希望者であれば、個人・団体を問わず受講できます。
講座は月1回(全8回程)度開催し、健康生活・一般教養に関する学習を行います。



▲写真は22年度の活動の様子

申し込み、お問い合わせは埴町公民館 ☎(43)0320まで。

情くらしの報

役場の電話番号
☎0247-43-2111(代表)
役場のFAX
0247-43-2116
町のホームページアドレス
http://www.town.hanawa.fukushima.jp/
町のメールアドレス
soumu@town.hanawa.fukushima.jp

※意見や要望のある方はご利用ください。

【直通電話番号】
総務課 ☎43-2111
まち振興課 ☎43-2112
町民課 ☎43-2113
健康福祉課 ☎43-2115
包括支援センター ☎43-2224

まち整備課 ☎43-2117
水道課 ☎43-2148
会計室 ☎43-2149
老人ホーム米山荘 ☎43-0294

埴保育園 ☎43-0377
議会事務局 ☎43-2150
農業委員会 ☎43-2119

教育委員会 ☎43-4050
学校教育課 ☎43-2644
生涯学習課 ☎43-0320
公民館 ☎43-0808
図書館 ☎43-0188
給食センター ☎43-0378
東白衛生組合

試験

町職員採用候補者

総務課

平成24年度採用予定者の試験を、今年7月に実施する予定です。職種は、行政職(大卒程度)および資格免許職(幼稚園教諭等)で、採用予定人数はいずれも若干名です。詳しくは、広報はなわ5月号に掲載する予定です。

問い合わせ

総務課総務係

☎(43)2111

労働基準監督官

白河労働基準監督署

受験資格

- 昭和57年4月2日〜平成2年4月1日生まれの方
 - 平成2年4月2日以降生まれの方で次に掲げるもの
(1)大学を卒業した方および平成24年3月までに大学を卒業する見込みの方
(2)人事院が(1)に掲げる方と同等の資格があると認める方
- 受付期間**
4月1日(金)
4月14日(木)
- 採用予定数**
●労働基準監督A(法文系) 約100人
●労働基準監督B(理工系) 約20人
- 第一次試験日**
6月12日(日)
- 問い合わせ**
白河労働基準監督署
☎0248(24)1391

相談

司法書士による無料法律相談

白河司法書士総合相談センター

不動産登記や会社登記、相続・遺言、多重債務、少額の裁判、成年後見などに関する法律相談を行います。相談は無料で、秘密は厳守されます。

開催日

※事前に予約が必要

4月7日(木)
5月12日(木)
6月2日(木)

時間

午後5時〜午後8時

場所

マイタウン白河2階
(白河市本町2番地)

予約・問い合わせ

白河司法書士総合相談センター
☎0248(23)1785

身体障がい者相談会

県身体障がい者福祉課

肢体不自由者の相談会を開催しますので、ご利用ください。

開催場所・期日

○白河市老人福祉センター
4月19日(火)
9月6日(火)
平成24年2月21日(火)

開催場所・期日

○棚倉町保健センター
6月21日(火)
12月6日(火)

受付時間

午後1時〜午後3時

担当医師

白河厚生総合病院
部長 鈴木幹夫

問い合わせ

県障がい者福祉課

お知らせ

固定資産税の縦覧が始まります

町民課

縦覧制度は、他の土地や家屋の評価額と比較して、自分の固定資産の評価額が適正かどうかを確認していただくための制度です。

縦覧期間

4月1日(金)
5月31日(火)

午前8時30分〜正午
午後1時〜午後5時15分

※土・日・祝日を除く

縦覧場所

町民課 課税係

縦覧できるもの

- ・土地価格等縦覧帳簿
- ・家屋価格等縦覧帳簿

縦覧できる人

町内に所在する土地・家屋の固定資産税の納税義務者が
※減免や非課税、課税標準額が免税点未満などで、税額が生じていない人は縦覧できません。

必要なもの

・運転免許証などの本人確認できるもの

・代理人の場合は委任状

手数料

無料

問い合わせ

町民課 課税係
☎(43)2113

橋りょう点検調査結果

まち整備課

町では、「橋りょう長寿命化修繕計画」の策定に向けて、平成21年度から点検調査を実施しています。これは、町道の橋りょうに関して安全対策と長寿命化を図るために実施するものです。

事業の流れ

- 平成21年度
長さ14・5以上の橋、26橋の点検調査を実施しました。
- 平成22年度
長さ14・5未満の橋、39橋の点検調査を実施しました。

※結果を町ホームページでご覧いただけます。

おくやみ申し上げます

2月16日から3月15日までの届け出

亡くなられた方	年齢	住所
山本 サヲさん	86歳	川上
藤田 政年さん	81歳	植田
戸井田 ヤイさん	87歳	木野反
藤田 ヤイさん	99歳	川上
鈴木 スマさん	71歳	木野反
藤田 トクさん	91歳	上石井
鈴木 公さん	83歳	大蔵
寺内 ハルノさん	90歳	上波井
森山 フクさん	83歳	常世中野
伊藤 サツノさん	94歳	板庭

※この欄に掲載を希望されない方は、届け出の際に窓口に出してください。
※「にんにちは赤ちゃん」は19ページに掲載してあります。

個人事業税(ソフトウェア開発業等)の認定基準が変わります

ソフトウェア開発の事業(広くコンピュータに関する事業)を行っている方について、これまでは、個人事業税課税の対象外になっていましたが、全国的な課税状況等を踏まえ認定基準を見直すことになりました。平成23年度(平成22年所得税確定申告分)から業務の形態によって課税の対象になります。

詳しくは、お問い合わせください。

問い合わせ

県南地方振興局県税部
☎0248-23-1517

埴町街頭犯罪発生状況をお知らせします

埴倉警察署

対象犯罪	発生件数	累計
強盗	0	0
空き巣	1	1
忍び込み	0	0
出店荒し	0	0
事務所荒し	0	0
ひったくり	0	0
車上ねらい	0	0
自動販売機ねらい	0	0
部品ねらい	0	0
自動車盗	1	1
オートバイ盗	0	0
自転車盗	0	0
計	2	2

3月9日現在

不審者をみかけたら、すぐ110番

ています。

里親になるためには

特別な資格は必要ありませんが、要件を満たす必要があります。さらに、児童相談所が実施する研修を受講していただく必要があります。

問い合わせ

県中児童相談所

☎024(935)0611

県中児童相談所白河相談室

☎0248(22)5648

うつくしま、ふくしま。健康福祉祭 第19回すこやか福島ねんりんピック

県高齢福祉課

5月26日(木)に開催される「第19回すこやか福島ねんりんピック」の各競技種目の参加者を募集します。

競技種目

ゲートボール、グラウンドゴルフ、クロリティーなど計21種目

競技会場

いわき市内・須賀川市内

競技参加資格

県内在住の60歳以上の方(昭和27年4月1日以前に生まれた人)

参加料

無料

参加申し込み期限

4月22日(金)まで

ゴルフ交流大会は5月25日(水)締め切り(ただし先着順)

問い合わせ

(財)県老人クラブ連合会

☎024(523)2131

県保健福祉部高齢福祉課

☎024(521)7197

TOWN TOPICS

まちの話題

あなたの地区の話題を提供してください。
取材に伺います。
※広報はなわに掲載された写真を希望される方は、
総務課☎43-2111までご連絡ください。



林野火災を未然に防ぐ

—各関係機関合同「林野火災防御訓練」—

県消防協会東白川支部・棚倉消防署・県消防防災航空隊合同の林野火災防御訓練が2月27日(日)、鮫川村および塙小の久慈川河川敷で行われました。消防団員など関係者約300人が参加し、鮫川村渡瀬地内の山林からの火災発生を想定し実施。久慈川河川敷では県防災ヘリが出勤し、待機していたポンプ車より給水。訓練現場の山林に散水しました。参加者たちは、24年前に塙町から鮫川村にかけて発生した大規模林野火災を二度と繰り返さないという思いを新たにしました。

ケータイの便利さ・怖さを知る

—常豊小学校「ケータイ安全教室」—

常豊小学校で「ケータイ安全教室」が3月2日(水)、同校ホールで行われました。5・6年生児童54人が参加し、ドコモサービス東北株式会社・NTTドコモケータイ安全教室インストラクターの安孫子 晶さんを講師に迎え、携帯電話の正しい使い方などを学びました。便利さと同時に、怖さも兼ね備える携帯電話。児童たちは、その正しい使用方法について学び、有害なサイトには絶対に接続しないことを誓いました。



学びやに別れをつける

—塙小学校 卒業証書授与式—

塙小学校の卒業証書授与式が3月23日(水)、同校体育館で行われました。今回の地震の影響で、卒業生・卒業生の保護者のみの出席で行われました。式では、卒業生51人一人ひとりに下重悦子校長から卒業証書が授与されました。今回の地震の影響により簡素化された卒業式。卒業生たちは、卒業式ができた喜びを感じながら6年間学んだ学びやに別れをつけました。なお、この日は町内各小学校・幼稚園で卒業式・卒園式が行われました。



御礼の気持ちを込めて

—片貝小学校「児童謝恩会」—

片貝小学校児童謝恩会が3月10日(木)、同校ふれあい教室で行われました。6年生5人(本校3人、矢塚分校2人)の手作りで開催された謝恩会。先生と一緒に会食したり、ゲームをしたりしました。また、児童たちによる笛の演奏やペープサート(紙人形劇)が行われ、楽しい時間を過ごしました。最後に、先生へ御礼の手紙と花を一人ひとり贈り、先生たちは、児童たちの心温まるもてなしに感謝していました。

地域医療の実態を知る

—平成22年度地域医療体験研修(冬期)—

地域医療に関心を持つ医学生を対象にした「地域医療体験研修(冬期)」が3月8日(火)・9日(水)の2日間、塙町・矢祭町などで行われました。東北大学、県立医科大学、北里大学、帝京大学の医学部生6人が参加し、塙厚生病院での研修では、佐川恵一院長による「東白川郡における地域医療の現状と取り組み」について説明を受けました。参加した医学生は、今回の研修を通して、今後の地域医療に必要なことを学びました。



お持ちかね、あなたの出番です。
251
シリーズ



松本 明美さん
(中塚)
職業 医療事務
趣味 ショッピング
好きな言葉 「前向き」

同居

私は、棚倉から嫁いできて23年になります。いつの間にか、塙町で暮らした月日の方が長くなりました。子どもにも恵まれ・・・と言いたるところですが、子どもには恵まれなかったため、家族は、私と主人と主人の両親の4人暮らしです。つまり同居です。友達に「同居は大変だね」と言われています。しかし、私は仕事柄帰りが遅いのですが、家に帰る

と明るく暖かい部屋と夕食ができていたので、とてもうれししいし助かっています。
時々、体調を崩し寝込む私に、湯タンポを作ってくれたり、飲み物やおかゆを作ってくれるお義母さん。また、寒さが厳しい朝に、誰よりも早く起きてまきストーブをたいてくれるお義父さん。そんな生活を当たり前に過ごしていました。
ある日、両親が旅行でいない時があり、仕事を終えて帰ると家は真っ暗。手探りで探す電気、寒くてなかなか暖まらない部屋、遅くを作る夕食・・・両親のいない大変さを感じました。
当たり前かと思っていたことが当たり前ではなく、同居している両親のおかげだと、ありがたく感じられました。
私は、松本家に嫁いで23年温かく見守り、協力してくれた家族に感謝したいと思います。
これから先も、頼ったり頼られたりしながら、仲良く暮らしていきたいと思っています。

■今回は松本ひろ子さん(中塚)です。



青砥 昭さん
(伊香)
職業 農業
趣味 スポーツ
書道
好きな言葉 「友情」
「前向き」

福寿草

冬ごもりの虫も、目が覚めるころ力をつけて、大空春支度の季節ともいえる。私が小学校低学年のころ、親が田の仕事をしているとき、久慈川から田の用水堀に魚が入って、田の水が入った中に魚がいた。その魚を捕って、夜は魚を焼き夕食に出た。
高城小に通学しているころは、道路は悪く狭い道で、砂利道約3キロの通学路だった。学校から家に帰ると、5月の田植えの準備を行った。田に水を入れ馬で代かき作業、馬に鉄の轡(くつわ)を付け、馬の首の所に竹の棒を結び、親は馬の後ろに回り馬鞆(マンガ)で馬に引かせた。そのうち馬も同じ所を回るようになり、

私も馬も疲れてくる。道路と同じように歩くわけにはいかず、仕事ってこんなに疲れるのかと思った。親は、明日の田植えのために懸命でした。
子どもの手伝いとして、苗運びや昼間農作業をしたが、それでは足りず、夜、畑を手で起こし、山から赤松の根を取ってきて乾燥させ、夜の畑作業の明かりに使い、毎晩9時頃まで作業した。朝は、5時ごろより田の水が入っているか見回した。
私が中学生のころは、久慈川には魚がたくさんいて、夕方になると、何人かが川で釣り糸をたらしていた。振り返ると、本当に懐かしい風景と見えます。また、秋の夕暮れころ、道端の桑畑でスズミシの音が「リリンリリン」と声高く鳴き、秋の取り入れが始まる季節の知らせのように聞こえた。
高校に通っていたときは、自転車がか家に1台しかなく、親から自転車が高校に行くなら学校に行くと言われた。また、台宿と塙への橋が板橋で、大雨になると橋は流され、学校まで6キロの堤道を歩きのときもあった。懐かしい思い出である。

■今回は小野ツネさん(本町)です。

入学おめでとう

この春、町内小学校に入学する73人の児童を紹介します。※生年月日順・敬称略
3月25日現在(変更がある場合があります)

塙小学校 42人

- | | |
|-------|-------|
| 鈴木 裕也 | 富田 咲弥 |
| 遠藤 愛斗 | 星 景太 |
| 萩原 直紀 | 堀江 太陽 |
| 鈴木 大翔 | 渋谷 陽香 |
| 大森 千萌 | 金沢 愛奈 |
| 鈴木 颯斗 | 菊地 夏凪 |
| 田代 凌万 | 吉田 遥也 |
| 青砥 和奏 | 松本 大和 |
| 金沢 司 | 近藤 夏帆 |

佐藤百々果

- | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 稲守ひなた | 深谷 総丞 | 角田 翔 | 渡部 悠真 | 田子 晃 | 千葉 泉帆 | 鈴木孝太郎 | 高坂 紗雪 | 金沢 巧 | 角田 春楓 | 石井 陽向 | |
| 千葉 涼夏 | 金沢 龍星 | 岡田 幸人 | 穂積 奏音 | 南條 結郁 | 石井 心 | 菊池 楓 | 八幡 篤来 | 大森アイコ | 石井 蓮 | 舟木 柗太 | 遠藤 毅人 |

笹原小学校 13人

- | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|
| 神永 千尋 | 小峰 彩夏 | 白石 修也 | 大森 亮河 | 近藤真由美 | 山本 悠加 | 金沢 駿 |
| 広瀬 大 | 吉田 悠人 | 長木 美優 | 金田 剛征 | 鈴木 大翼 | 松本 紗奈 | |

片貝小学校 4人

- | | |
|-------|-------|
| 鈴木 花奈 | 鈴木 心晴 |
| 白石 晴暉 | 緑川 佳恵 |

高城小学校 6人

- | | |
|-------|-------|
| 亀山 陽菜 | 小松 夢翔 |
| 坂上 彩絵 | 鈴木 真央 |
| 金沢 優人 | 吉成 佑香 |

常豊小学校 8人

- | | |
|-------|-------|
| 小野 琢磨 | 塙 茜 |
| 根本 裕矢 | 桜岡 和薫 |
| 上妻 優雅 | 大瀧姫茉莉 |
| 上妻 琉那 | 増子 塁 |



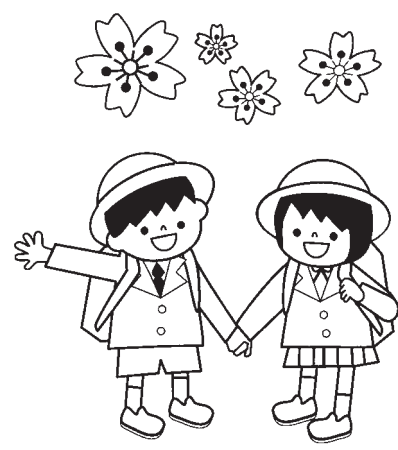
昨年の塙小学校入学式

こんにちは赤ちゃん

2月16日から3月15日までの届け出

出生児名 父・母 月/日 住所

鈴木 結衣 一彦・仁美 2/22 上洪井



※「おくやみ申し上げます」は15ページに掲載してあります。



北郷 善二さん
千葉県柏市在住
(森ノ根出身)

このコーナーでは、東京埼玉の皆さんの懐かしい思い出やふるさとへの思いを紹介しています。

我がふるさとと塙(笹原)

春たけなわ桜前線も揚々と北上している今日このごろ、広報はなわの愛読者の皆さま、いかがお過ごしでしょうか。

私は、18歳まで塙町の笹原で過ごしました。夢と希望に胸を膨らませ、上京したのは今から43年前。月日は早いもので走馬灯のごとく流れ去り、42年間の勤めも終え、昨年の春に無事定年退職しました。これはひとえに、学校の恩師を始め、友人や諸先輩方のご指導ご鞭撻のたまものであると同時に、先祖・親・兄弟の支えがあったからと考えております。

笹原で過ごした日々を思い返すと、まず一番に思い出すのは、毎日のように友人と遊んだ小学校時代です。母校・笹原小学校は笹原の中心に位置し、校舎は木造2階建て。当時は3クラスで100名余り。弘法山を父とし、川上川を母とするような大自然を擁した環境にあります。校舎裏側には天神山があり、年少期には登るのに大変苦労しましたが、登ってみると周辺が一望でき、何ともいえない開放感を覚えるものでした。実家周辺は、周囲を阿武隈山系に囲まれ、自然の防風林に守られたようなのどかな所で、春には新緑と田植え、カエルの大合唱、夏は海より深いと思った亀淵・

和久の川遊び、秋は弁当を持って走り回った弘法山、冬は手作りのソリや竹スキーで遊んだことをよく覚えています。

そんな自然に満ちあふれた笹原が大好きでした。たまに帰省しますが、自然豊かな景色を見ると、タイムスリップしたような気持ちになり、友達・親戚・近所の人たちと酒を酌み交わしながら昔を懐かしんだりしています。

今でも特に心に残っている恩師の言葉に、「遊んで転んだら、自分で起きてこそ次の遊びができる。学問も一緒だ」があります。還暦を迎え第一の人生をスタートした今、この言葉の意義をかみしめながら歩んできています。また、ふるさとで培った魂を活用しつつ、現在住んでいる千葉県柏市のため、微力ではありますが地域の発展に寄与していきたいと思えます。

(次回は、埼玉県さいたま市在住の鈴木芳昭さんです)

●休日の当番医院

4月3日	おおひら整形外科クリニック ☎ 33-9468	5月1日	東館診療所 ☎ 46-3165
4月10日	塙厚生病院 ☎ 43-1145	5月3日	大木医院 ☎ 33-2424
4月17日	木村医院 ☎ 46-3528	5月4日	金沢医院 ☎ 46-2312
4月24日	あらまちクリニック ☎ 33-8018	5月5日	東白川中央病院 ☎ 33-3263

●町長と町を語ろうよ いつでもご連絡ください

町は、町民の皆さんの手で支えられています。町長と気軽に話し合い、あなたのご意見をお聞かせください。なお、出張中などで、町長が不在のときもありますので、町長と話がしたい場合には、事前にご連絡をお願いします。

■問い合わせ 総務課総務係 ☎ 43-2111

●町の人口 9,964人(3月1日現在)

男性 4,931人(-9) 世帯数 3,311戸(-6)
女性 5,033人(-9) ()内は前月比
※広報はなわの『町の人口』は、住民基本台帳の人口、世帯数を掲載しています。

編集後記

▼今回発生した東日本大震災。東北地方が大きな被害を受け、地域によっては役場の機能も失われたところもあります。福島県においては、地震・津波・原発事故と、次から次へ起きる悲惨な状況。一刻も早い事態の収拾を願ってやみません。こんなときだからこそ、日本人が一致団結し、この困難を乗り越えていきたいものです。

関根宏二



発行・編集／塙町役場 〒963-1549
印刷／佐藤印刷所 福島県東白川郡塙町大字塙字大町三丁目21番地
FAX (02247) 431211